

〔全国〕5月～月例会のご案内

＜債権管理実務研究会 事務局＞
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2
日本橋フロント3階
TEL : 03(6262)6764 FAX : 03(6262)6802
Email : saiken-kanri@shojihomu.co.jp
HP : <https://saiken.shojihomu.co.jp/>

《事務局より》

全国会員の皆様は、新サービスとして、アーカイブ配信講座（11頁参照）、商事法務ビジネス・ロー・スクールのセミナー割引特典（14頁参照）がございます。ご活用いただけますと幸いです。

【会員懇談会のご案内】

■東京会場■

4月25日（木）18時-

[先輩審査担当者による何でもお悩み相談会 第3弾](#)

■大阪会場■

5月17日（金）16時-

[わが社における審査部門の成功事例と失敗事例](#)

【月例会のご案内】

1. **〔実務講座〕新任審査担当者のための基礎講座～営業支援型審査の心得と与信マインドの醸成～**
〔講師〕佐野 進 氏（（株）山善 経営管理本部 東京PL・知的財産管理室長）
〔視聴期間〕5月1日（水）～5月31日（金）（収録日：4月11日（木））
2. **倒産法入門～取引先の倒産に慌てないための基本と実践～**
〔講師〕窪田三四郎 弁護士（西村あさひ法律事務所）
〔視聴期間〕5月1日（水）～5月31日（金）（収録日：4月18日（木））
3. **企業情報の活用方法～信用調査報告書をどう読み解くか～**
〔講師〕藤井 俊 氏（（株）帝国データバンク 情報統括部長）
〔視聴期間〕5月15日（水）～6月17日（月）（収録日：4月23日（火））
4. **〔実務講座〕今こそ！与信管理**
〔講師〕原 宏孝 氏（大丸興業（株）法務審査部 法務審査チーム）
〔開催日〕**5月9日（木）10-12時**（視聴期間：6月3日（月）～7月3日（水））
5. **〔実務講座〕審査AIの現在地～金融業での活用状況と審査分野への活用について～**
〔講師〕雪本真治 氏（三井住友ファイナンス&リース（株） データマネジメント部）
〔開催日〕**5月16日（木）10-12時**（視聴期間：6月3日（月）～7月3日（水））
6. **金商法の基礎知識と類型別財務制限条項の活用法**
〔講師〕中村慎二 弁護士（アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業）
〔開催日〕**5月23日（木）10-12時**（視聴期間：6月17日（月）～7月17日（水））

7. **〔実務講座〕 審査担当者のための企業分析の実務ポイント～情報の活かし方の勘所～**
 〔講師〕 林 裕司 氏 (株) リコー プロフェッショナルサービス部経理センター 財務室 財務戦略グループ 与信管理担当マネージャー
 〔開催日〕 **5月28日(火) 10-12時** *WEB配信は後日ご案内します
8. **新たなテクノロジー活用とリスクマネジメントの最前線**
 ～生成AIやweb3を巡る現在の課題と展望～
 〔講師〕 殿村桂司 弁護士/小松 諒 弁護士 (長島・大野・常松法律事務所)
 〔開催日〕 **6月6日(木) 15-17時** (視聴期間: 7月1日(月)～7月31日(水))
9. **東南アジアの債権管理・回収の各種事例とグループ会社との協調と管理の実務**
 〔講師〕 長谷川良和 弁護士 (長島・大野・常松法律事務所 シンガポール・オフィス)
 〔開催日〕 **6月7日(金) 15-17時** (視聴期間: 7月1日(月)～7月31日(水))
 *ZOOM開催
10. **〔実務講座〕 海外取引先の与信管理の基礎**
 〔講師〕 保阪賀津彦 氏
 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング事業本部国際業務推進本部国際アドバイザー事業部 副部長)
 〔開催日〕 **6月13日(木) 10-12時** (視聴期間: 7月1日(月)～7月31日(水))
11. **基礎からおさらい 取引信用保険・ファクタリングの実務と現況**
 〔講師〕 金子直人 氏 (アトラディウス信用保険会社) /白井亮隆 氏・新河戸美織 氏 (丸紅セーフネット(株))
 〔開催日〕 **6月20日(木) 10-12時** (視聴期間: 7月12日(金)～8月13日(火))
12. **債権管理の実務と管理会計～非財務情報を含めた財務分析の進め方～**
 〔講師〕 古田清和 公認会計士(古田公認会計士事務所)
 〔開催日〕 **6月25日(火) 15-18時** (視聴期間: 7月12日(金)～8月13日(火))
13. **〔実務講座〕 リスク管理モデル開発の現場から～モデル開発・評価・運用のポイント～**
 〔講師〕 山根智之 氏・金子秀明 氏 (みずほ第一フィナンシャルテクノロジー(株))
 〔開催日〕 **7月3日(水) 10-12時** (視聴期間: 8月1日(木)～9月2日(月))
14. **3Step 取引・信用リスクマネジメント講座 (全3講)**
 〔講師〕 高市幸男 氏 (リスク管理研究所代表 元東京商工リサーチ 取締役)
 〔開催日〕 第1講 **6月18日(火) 10-12時** (視聴期間: 7月12日(金)～8月13日(火))
 第2講 **7月9日(火) 10-12時** (視聴期間: 8月1日(木)～9月2日(月))
 第3講 **8月20日(火) 10-12時** (視聴期間: 9月17日(火)～10月17日(木))
15. **類型別 取引リスク分析基本講座 (全4講)**
 〔講師〕 第1講 本多広和 弁護士 (阿部井窪片山法律事務所)
 〔開催日〕 **7月18日(木) 10-12時** (視聴期間: 8月19日(月)～9月19日(木))
 〔講師〕 第2講 荒井康弘 弁護士 (丸の内総合法律事務所)
 〔開催日〕 ① **7月25日(木) 10-12時** (視聴期間: 8月19日(月)～9月19日(木))
 ② **8月1日(木) 10-12時** (視聴期間: 9月17日(火)～10月17日(木))
 〔講師〕 第3講 山根航太 弁護士 (虎門中央法律事務所)
 〔開催日〕 ① **8月29日(木) 10-12時** (視聴期間: 9月17日(火)～10月17日(木))
 ② **9月19日(木) 10-12時** (視聴期間: 9月17日(火)～10月17日(木))
 〔講師〕 第4講 猿倉健司 弁護士 (牛島総合法律事務所)
 〔開催日〕 ① **9月26日(木) 10-12時** (視聴期間: 9月17日(火)～10月17日(木))
 ② **10月3日(木) 10-12時** (視聴期間: 9月17日(火)～10月17日(木))

視聴期間「5月1日（水）～5月31日（金）」のセミナー

テーマ① 【実務講座】新任審査担当者のための基礎講座

～営業支援型審査の心得と与信マインドの醸成～（4/11収録、2時間）

講師 佐野 進氏（(株)山善 経営管理本部 東京 PL・知的財産管理室長）

企業にとって審査部門・担当者の役割や意義とは一体何でしょうか。役割や意義を考えるうえで重要となる基本的な考え方や講師の実務経験に基づいたリアルな体験や工夫等について、本講座では以下の項目に沿って解説します。

<主要講義項目>

1. アサーティブ／2. 与信管理とは／
3. 知識と習得／4. ヒト・モノ・カネ・ネタ／
5. 与信管理プロセスの4K／6. 営業支援型／7. 審査の役割

テーマ② 倒産法入門～取引先の倒産に慌てないための基本と実践～（4/18収録、2時間）

講師 窪田三四郎 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

世間では、近時、企業の倒産件数が増加しており、倒産に至らずとも財務状況の厳しい企業も増加傾向にあります。

もっとも、新聞・ニュースや書籍等では「倒産」や関連する用語について見聞きしつつも、実際に取引先の倒産に直面・対応されたことのある方は多くはなく、また、幅広い「倒産」という事象について体系的・俯瞰的に理解することができる機会は多くないと思われま

す。企業が一旦倒産（特に法的整理）に至ってしまうと、なかなか債権回収等で打てる手は少なくなってしまうことから、審査担当者としては、企業が倒産に至るまでに表れるさまざまな兆候を捉えつつ、正しい倒産に関する知識に基づき、いざというときに備えておくことが必要です。

そこで本講では、倒産対応経験や企業内で倒産関連の研修の経験が豊富な弁護士が、倒産を考えるときの基本から手続きの流れ、実践的な対応方法まで、初学者にとってもわかりやすい内容で解説します。

視聴期間「5月15日（水）～6月17日（月）」のセミナー

テ ー マ 企業情報の活用方法～信用調査報告書をどう読み解くか～（4/23収録、2時間）
講 師 藤井 俊 氏（(株)帝国データバンク 情報統括部長）

企業の実態を把握するために活用される情報の一つである信用調査報告書。企業のホームページや営業マンが持つ情報だけでは十分といえません。第三者の立場で企業の信用状態を、数字をベースにした定量情報、実際に面談した感触をベースにした定性情報の両面で会社を格付けしています。

審査担当者には、自社で持つ企業情報を補完し、多面的な視点で分析する能力が要求されます。相手先企業の審査を進めるにあたっては、信用調査報告書（調査レポート）は最も基本的な資料といえ、それを読み込むことで、相当程度調査対象企業の状況を把握することができます。

そこで本講では、信用調査報告書（調査レポート）について、大手調査機関で企業取材の第一線で活躍されている講師より、作成までのプロセスや記載事項を概説いただきながら、足元の経済情勢を踏まえた実践的な読み方について実際のサンプルを資料にご紹介いただきます。

その他5月に配信中のセミナー

■視聴期間■4月15日（月）～5月15日（水）

国際倒産に直面した場合における初動対応とリスク管理の勘所（3/22収録、2時間30分）
講師 菅野百合 弁護士・紺田哲司 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

法務・審査担当者のための企業会計・税務入門講座～企業の「取引」行為を中心に～（4/5収録、3時間）
講師 染谷英雄 公認会計士・税理士（つばさ税理士法人）

テ ー マ **【実務講座】今こそ！ 与信管理**
講 師 原 宏孝氏（大丸興業(株) 法務審査部 法務審査チーム）
会場開催 **5月9日(木) 10時-12時**【視聴期間 6月3日(月)～7月3日(水)】
会 場 (株)商事法務 会議室（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階）

『取引先が倒産した！』このような経験をしたことが無い人も多いと思います。リーマンショック以降、企業倒産は抑制され、倒産件数は低水準となりました。コロナ禍で企業が苦しむ時でさえ、倒産件数は減少しました。

その一方で、過剰債務など企業を取り巻く環境は厳しさを増し、粉飾決算等の不正も増えています。

『倒産の減少で企業が失ったものは何か』『与信管理をする事で何が得られるか』

本講座では、顕在化しつつある問題点を、長年、銀行と商社で審査実務に従事してきた経験を基に、今、そして、これからの与信管理の役割について解説します。

<主要講義項目>

- ・倒産減少の要因（円滑化法・ゼロゼロ融資等の金融支援策や私的整理について）
- ・倒産が抑制されていることで、今、企業内で起こっていること
- ・企業が抱える問題や課題（倒産増加・トラブル・コンプライアンス事案等）
- ・企業を見る目（財務面・定性面・金融機関の見方など）
- ・審査部門は「通訳?!」
- ・与信管理を行うことの意義、行うことで見えてくるもの

テ ー マ **【実務講座】審査 AI の現在地**
～金融業での活用状況と審査分野への活用について～
講 師 雪本真治 氏（三井住友ファイナンス&リース(株) データマネジメント部）
会場開催 **5月16日(木) 10時-12時**【視聴期間 6月3日(月)～7月3日(水)】
会 場 (株)商事法務 会議室（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階）

AI 技術の急速な進化が今日の社会やビジネス環境に多大な変化をもたらしています。金融業界でも AI による業務の変革が進んできています。本講義では金融業界における審査 AI の活用事例を紹介いたします。金融業界での事例を通して他業界での活用につながるヒントを提供いたします。

具体的には当社（三井住友ファイナンス&リース株式会社）で実用している審査 AI の事例を紹介いたします。導入の検討を始めた背景やリリースに至るまでの間に検討された内容を取り扱うとともに、審査 AI がどのように審査やリスク管理に貢献しているかを解説いたします。また運用を開始してから一定程度の期間が経っていることから、運用において題点となる点や今後の展開についても議論いたします。

<主要講義項目>

1. 審査 AI とは／
2. 金融業界における審査 AI の導入事例／
3. 審査 AI の課題と今後の発展

テ ー マ 金商法の基礎知識と類型別財務制限条項の活用法
講 師 中村慎二 弁護士(アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業)
会場開催 5月23日(木) 10時-12時 [視聴期間 6月17日(月) ~7月17日(水)]
会 場 ㈱商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)

金融商品取引法は2024年4月1日から改正法が施行され、法定の四半期報告書の廃止等、開示実務に大きな影響があります。本講はこの改正を機に、金融商品取引法の中でも多くの会社や役職員の方々に影響がある企業内容等開示制度(有価証券届出書・有価証券報告書)およびインサイダー取引規制の基礎的な部分を説明いたします。

また、併せて、融資契約において用いられることのある財務制限条項について、その機能や目的を類型(パターン)別に紹介し解説いたします。

なお、企業内容等の開示に関する内閣府令の改正により、財務制限条項について有価証券報告書・臨時報告書における開示が要求される予定ですので、その概要と実務上の留意点についても紹介いたします。

<主要講義項目>

1. 金商法の概要 / 2. 開示規制 / 3. インサイダー取引規制 /
4. 財務制限条項の概要 / 5. 財務制限条項の活用場面～類型別考察 /
6. 今後の開示への影響

テ ー マ **【実務講座】 審査担当者のための企業分析の実務ポイント**
～情報の活かし方の勘所～
講 師 林 裕司 氏 ((株)リコー プロフェッショナルサービス部経理センター
 財務室 財務戦略グループ 与信管理担当マネージャー)
会場開催 5月28日(火) 10時-12時 *WEB配信は後日ご案内します
会 場 ㈱商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)

審査業務をするうえで、「このやり方が合っているのか」、「もっと他に効率化する方法はないか」といったお悩みをよく聞きます。一方で日々の業務をする中で、他社の審査方法については聞く機会もなく、先輩から教わった方法のみしか知らない方が多いかと思えます。

そこで、本講座では、審査業務をするうえで、欠かせない定量分析の話をはじめ、企業分析の重要ポイントについて実務担当者に解説いただきます。

特に本講座では、「ざっくり分析」以外に関しては、収録をせず、会場限定でここだけのお話しをしていただきます。ぜひ会場にてご参加ください。

<主要講義項目> 以下は予定ですので、変更の可能性がございます。

- ・ ざっくり分析 (収録)
- ・ **企業概要(限られた情報)から審査する方法 (会場限定)**
- ・ **決算書の見方・読み方 (会場限定)**
- ・ **適正与信額の考え方 (会場限定)**

テ ー マ **新たなテクノロジー活用とリスクマネジメントの最前線**
～生成 AI や web3 を巡る現在の課題と展望～
講 師 **殿村桂司 弁護士／小松 諒 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）**
会場開催 **6月6日（木）15時-17時**〔視聴期間：7月1日（月）～7月31日（水）〕
会 場 **（株）商事法務 会議室（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階）**

あらゆる事業分野において、新たなテクノロジーをどれだけビジネスに活用できるかが、業務の効率化を図り、競争優位性を確保・維持するためには不可欠の要素となっています。もっとも、新たなテクノロジーの活用にはリスクが伴うことにも留意が必要です。近時、急速に社会に浸透している生成 AI を巡っては、著作権その他の法的な問題だけでなく、差別やハルシネーション等の倫理的な問題も指摘されています。また、ブロックチェーン技術を活用した web3 ビジネスに関しても、金融規制やセキュリティ上のリスクへの対応が必要です。

したがって、いかにリスクをマネジメントしながら、これら新たなテクノロジーのメリットを最大限引き出すことができるかが、これまで以上に重要になっています。

そこで本講演では、生成 AI や web3 を巡る問題・規制の最新動向を整理した上で、これらのテクノロジーの活用に伴うリスクをマネジメントするための視点・留意点を提供いたします。

<主要講義項目>

- 1 生成 AI を巡る法的・倫理的問題の整理
- 2 AI に関する規制の最新動向
- 3 AI のリスクマネジメントとしての AI ガバナンス
- 4 web3 に関する法的問題とリスクマネジメント

テ ー マ 東南アジアの債権管理・回収の各種事例とグループ会社との協調と管理の実務
講 師 長谷川良和 弁護士（長島・大野・常松法律事務所 シンガポール・オフィス）
ZOOM 開催 6月7日（金）15時-17時〔視聴期間：7月1日（月）～7月31日（水）〕
会 場 ㈱商事法務 会議室（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階）

トレーディングや金融の拠点として知られるシンガポールでは、他国法人宛債権が発生することも多く、また日本の本社が東南アジアの取引先と新規に取引を開始したり債権回収する際に地域統括拠点としてあるいは他の形態でサポートすることも良くあります。

その中で、東南アジアの取引先の支払遅延・支払拒絶、取引先の破綻といった日常の取引に付随して生じる債権管理の局面やその予防対応の検討、あるいはいわゆるビジネス詐欺的ななりすまし等に基づく誤送金によって債権回収あるいは事故対応が必要となる局面で日系企業をサポートすることも少なからずあります。

本講義では、シンガポール駐在 10 年超の経験を有する講師が、実際に目にする東南アジアの債権管理・回収に係る事例やグループ会社と協働する際の担当者の苦勞事例などを元に、現地の感覚も交えて各種事例を紹介します。

<主要講義項目>

- I. はじめに
 1. 東南アジアの多様性：法制・文化的系譜
 2. 日本との相違点
 3. シンガポールの政策的特徴とそれに基づく経験の紹介
- II. 取引の検討・実行時のリスク管理
 1. 取引先の属性調査
 2. 取引先との取引内容の検討
 3. 担保・保証取得の検討
 4. 取引先の与信管理
 5. 取引先の不履行・破綻
- III. 事例①：取引先の属性調査
 1. AML/CFT 規制強化の傾向
 2. Customer Due Diligence
- IV. 事例②：取引先との取引内容その 1（支払遅延）
 1. 支払督促状の送付他実務上の対応
 2. 未払いの抑止措置
 - (1) 支払遅延条項
 - (2) 損害賠償額の予定条項
 3. 紛争解決条項・準拠法条項
- V. 事例③：取引先との取引内容その 2
 1. シンガポール、マレーシア、インドネシアが関係する例
 2. グループ会社との協調例
- VI. 事例④：なりすましによる誤送金
 1. 被害届・事実関係調査
 2. 法的な考え方と実務対応
 3. 予防措置
 4. 他の諸事案
- VII. 事例⑤：担保・保証取得の検討
 1. 担保対象物・担保形態の検討（例：マレーシアの流動在庫担保）
 2. 金融機関による取引先への貸付条件（ネガティブコベナンツ含む）の確認
 3. 保証・補償と取得時の留意事項

テ ー マ **〔実務講座〕海外取引先の与信管理の基礎**

講 師 保阪賀津彦 氏

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング事業本部国際業務推進本部国際アドバイザー事業部 副部長)

会場開催 **6月13日(木) 10時-12時**〔視聴期間：7月1日(月)～7月31日(水)〕

会 場 (株)商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)

海外取引先の与信管理を行うに当たって必要な基礎知識と実務対応について、解説します。

日本からの輸出債権のみならず、海外子会社の販売債権についても対象に、コンサルティング実績を踏まえて、より実務に即した内容をお伝えします。主な内容は次の通りです。

<主要講義項目>

1. 知らないと対応を誤る＝日本企業と海外企業の違い(商慣習や会社に対する考え方)
2. 海外取引先の信用調査方法(各国当局のウェブサイトのご紹介や信用調査会社の特徴)
3. カントリーリスク管理の重要性と危険な国の見分け方
4. 格付(企業の定量・定性評価)・与信限度・取引条件設定の基礎
5. (海外企業取引で頻発しやすい)支払遅延への対応策
6. 輸出債権と海外現地法人における債権リスクヘッジ方法概要

テ ー マ **基礎からおさらい 取引信用保険・ファクタリングの実務と現況**

講 師 金子直人 氏(アトラディウス信用保険会社) /

白井亮隆 氏・新河戸美織 氏(丸紅セーフネット(株))

会場開催 **6月20日(木) 10時-12時**〔視聴期間：7月12日(金)～8月13日(火)〕

会 場 (株)商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)

▼前半パート 丸紅セーフネットより

各社アナリストやリスクマネージャーによると2024年4月以降、中小企業を中心にいわゆる「あきらめ倒産・廃業」の増加が予測されており、財務状況や信用情報を得にくい中小企業の静かな倒産に備え、今まで以上に包括的なリスクマネジメントの知識をもってリスク管理していく必要性が出てくると考えられます。

そこで前半パートでは、取引信用保険とファクタリングの基礎をおさらいしながら、違いや具体的な実務での活用方法をご説明し、また保険会社・保証会社が直近の信用保険マーケットをどう見ているか、ご紹介させていただきます。

▼後半パート アトラディウスより

アフターコロナにおいて経済活動が再開するなか、財務内容は回復していないものの倒産にも至っていない、いわゆるゾンビ企業との取引を行っている企業も少なくありません。アジアにおける商活動を拡大するためには後払い決済での取引は不可欠ですが、同時に債権回収や債権管理リスクに悩む企業も増えています。売掛債権は膨らむ一方で、いざ債権回収に臨もうとしても海外での債権回収ノウハウもなく、放置または回収を断念するケースも少なくありません。

そこで後半パートでは、アジアにおける債権回収に関して事例を紹介しながら解説いたします。

※それぞれのパートについて、基本的な解説の後、Q&A方式・対談式などを織り交ぜながら、本音で解説します。

テ ー マ 債権管理の実務と管理会計～非財務情報を含めた財務分析の進め方
講 師 古田清和 公認会計士(古田公認会計士事務所)
会場開催 6月25日(火) 15時-18時〔視聴期間：7月12日(金)～8月13日(火)〕
会 場 (株)商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)

売掛金や貸付金などの金銭債権について、計上額すべてを回収し現金化できるとは限らないため、金融商品に関する会計基準(金融商品会計)では予想される将来のリスク(貸倒れ)に備えた会計処理、すなわち貸倒引当金の計上を債権の種類ごとに要求しており、法人税法上も貸倒引当金の見積方法が定められています。また、昨今の電子化に伴い、取引の性格も変化してきています。

未回収という将来のリスクに対応するには、財務上の数値だけではなく、取引先企業を取り巻く、事業環境や事業リスクを踏まえた、定量化されない定性的情報にも配慮することが重要な課題の一つであると位置づけられています。そのためには管理会計の手法も利用していく必要があります。

企業の債権管理の担当者にとって、取引先の財務情報だけではなく非財務情報も併せて信用リスクの監視を行い、債権を回収することが、非常に重要となっています。

企業内では債権管理における内部統制を構築し、管理会計の手法を活用することで、例えば、①リスク予防強化のための内部統制体制を設計し構築すること、②貸倒引当金について、予算(内容)と決算(処理)の整合性の観点から、決算業務に管理会計の手法(CFD法等)を活用する体制を構築し対応していくこと、③個別取引先に対する与信・債権管理について、取引・与信限度枠の保守と取引の推移に対するモニタリングを基に営業部門と審査部門の連携を促し、債権管理回収業務の適時性や効率性を向上させること、④リスク評価への非財務情報の活用の仕方など、が可能になります。

そこで、経験豊富な公認会計士である講師を招聘し、分かりやすくご解説いただきます。

<主要講義項目>

1. 債権管理の基本
2. 管理会計の手法
3. 非財務情報の活用

新サービス アーカイブ動画のご案内

アーカイブ動画は、通常の月例会と異なり、お申込みをせずに一定期間ご視聴が可能です。ただし、お申込みを経由しないため、受講履歴に反映されない点にご留意ください。配信期間は、セミナー毎に異なりますので、ご注意ください。

【債権回収】

1. 債権管理・回収の基本対応と実践ポイント（全3回）

〔講師〕志甫治宣 弁護士（三宅・今井・池田法律事務所）／武井陽太郎 弁護士

〔視聴期間〕4月1日（月）～9月30日（月）

（収録日：2023年10月26日（木）・11月14日（火）・12月7日（木））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1783&scd=stk00033>

2. 債権回収の実務エッセンス（全3回）

〔講師〕木村真也 弁護士（木村総合法律事務所）

〔視聴期間〕4月1日（月）～2025年3月31日（月）

（収録日：2024年1月10日（水）・2月9日（金））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2003&scd=stk00065>

3. サービサーに学ぶ 債権回収の極意

～BtoB、BtoCそれぞれの局面に応じた回収手法の考察～

〔講師〕新川洋司氏（(株)山田債権回収管理総合事務所 取締役）

〔視聴期間〕4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2024年3月7日（木））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2096&scd=stk00080>

4. 国際倒産に直面した場合における初動対応とリスク管理の勘所

〔講師〕菅野百合弁護士／紺田哲司弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

〔視聴期間〕5月16日（木）～2025年3月31日（月）（収録日：2024年3月22日（金））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2127&scd=stk00085>

【与信管理・信用調査】

5. 危ない会社の見抜き方 ～混沌！多様化時代の与信管理

〔講師〕宇津木靖司氏（元(株)日証）

〔視聴期間〕4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2023年9月21日（木））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1781&scd=stk00031>

6. よろず与信管理の要諦

〔講師〕大宮 有史 氏（一般社団法人与信管理協会 代表理事）

〔視聴期間〕4月1日（月）～9月30日（月）（収録日：2022年4月20日（水））

詳細はこちら：<https://www.yoshin-kanri.com/seminar.html>

7. 倒産事例と私的整理円滑化法案のゆくえ

～WITH コロナ時代の与信管理のあり方にも触れて

〔講師〕大宮 有史 氏（一般社団法人与信管理協会 代表理事）

〔視聴期間〕4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2023年2月16日（木））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1656&scd=sok00001>

8. 信用調査レポート（TSR版）の読み方

〔講師〕 林 浩太郎氏（（株）東京商工リサーチ）

〔視聴期間〕 4月8日（月）～5月8日（水）（収録日：2023年4月19日（火））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1655&scd=stk00004>

9. 地政学リスクを踏まえた包括的な海外ビジネスのリスク管理手法

〔講師〕 三輪 治郎氏（（株）東京商工リサーチ）

〔視聴期間〕 4月15日（月）～5月15日（水）（収録日：2024年2月20日（火））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2048&scd=stk00076>

10. VUCA時代における与信管理のあり方

〔講師〕 川野雅之氏（（有）川野コンサルティング 代表取締役）

〔視聴期間〕 5月1日（水）～7月31日（水）（収録日：2023年7月11日（火））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1746&scd=stk00019>

11. 債権管理担当者のための不動産鑑定・評価の基礎知識

〔講師〕 比留間康昌 不動産鑑定士（（株）ヒルマ 代表取締役）

〔視聴期間〕 5月1日（水）～10月31日（木）（収録日：2023年5月19日（金））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1670&scd=stk00007>

12. 海外取引における与信手法と債権管理の実務

～米英におけるコロナ後の倒産動向を踏まえて

〔講師〕 牧野和彦氏（ナレッジマネジメントジャパン（株） 代表取締役）

〔視聴期間〕 5月1日（水）～10月31日（木）（収録日：2023年10月4日（水））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1843&scd=stk00047>

13. 最新 登記の活用とリスクマネジメント

〔講師〕 鈴木龍介 司法書士（司法書士法人鈴木事務所）／

小野絵里 司法書士（プレイドリーガル司法書士事務所）

〔視聴期間〕 5月1日（水）～10月31日（木）（収録日：2024年1月15日（月））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2009&scd=stk00068>

14. 取引信用保険とファクタリング

～最近の信用保険情勢を踏まえた効果的・効率的活用方法

〔講師〕 柏瀬 愛氏（東京海上日動火災保険（株））／

横山良史氏（ワールドインシュアランスエージェンシー（株））／

仲原大輔氏（ワールドインシュアランスブローカーズ（株））

〔視聴期間〕 5月1日（水）～2025年3月31日（月）（収録日：2024年3月12日（火））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1670&scd=stk00007>

【財務分析・会計・税務】

15. 新リース会計基準の概要と実務対応の考え方～財務諸表へ及ぼす影響の考察～

〔講師〕 山本 勝一 公認会計士（有限責任 あずさ監査法人）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～5月31日（金）（収録日：2024年1月18日（木））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1954&scd=stk00061>

16. 契約書をめぐる税務・会計の基礎と実務（全2回）

～重要税務と印紙税、会計基準の落とし穴を契約書条項に触れて～

〔講師〕 鈴木 規央 弁護士・公認会計士（アクトアドヴァイザーズ法律事務所）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～2025年3月31日（月）

（収録日：2023年10月17日（火）・11月10日（金））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1868&scd=stk00051>

17. ゼロから分かる決算書の仕組み・見方と財務分析手法

〔講師〕 植木康彦 公認会計士・税理士（Ginza 会計事務所）

〔視聴期間〕 4月15日（月）～9月17日（火）（収録日：2023年6月7日（水））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1672&scd=stk00009>

【リスクマネジメント】

18. リスクマネジメント入門講座 労務編～与信先の労務リスクについて～

〔講師〕 宮島 朝子 弁護士（安西法律事務所）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2023年11月29日（水））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1850&scd=stk00049>

19. 反社会的勢力と危険な取引先の見極めと対応のチェックポイント

〔講師〕 鶴巻 暁 弁護士（上條・鶴巻法律事務所）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～12月31日（火）（収録日：2024年12月18日（月））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1937&scd=stk00057>

20. 事例から学ぶ会計不正の発見統制～リスクのアンテナの建て方～

〔講師〕 渡邊宙志 弁護士、公認内部監査人、公認不正検査士（プロアクト法律事務所）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2024年1月22日（月））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1988&scd=stk00063>

21. 企業間取引に潜むリスクのを見つけ方と対応策

〔講師〕 佐々木裕助 弁護士（柳田国際法律事務所）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2024年2月14日（水））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2028&scd=stk00073>

22. リスクマネジメント入門講座 下請法・独禁法コンプラ編

〔講師〕 村上 亮 弁護士（日比谷総合法律事務所）

〔視聴期間〕 4月1日（月）～2025年3月31日（月）（収録日：2023年8月29日（火））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=1763&scd=stk00025>

23. 下請法の最新動向～労務費の転嫁・下請取引の適正化への実務対応～

〔講師〕 村上 亮 弁護士（日比谷総合法律事務所）

〔視聴期間〕 5月1日（水）～2025年3月31日（月）（収録日：2024年3月18日（月））

詳細はこちら：<https://saiken.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2162&scd=stk00089>

等、随時更新予定

商事法務ビジネス・ロー・スクールのセミナーの割引特典について

割引特典対象セミナーは以下のとおりです。申込方法は、下記 URL からお申込みいただき、備考欄に「債権管理実務研究会会員」と記載してください。記載のある方に限り、原則3割引価格でご提供いたします。

1. 総合解説・会社法決算書の実務～基礎的事項の確認から実務対応まで～

〔講座概要〕経理部・財務部等において計算書類等を作成する立場の方を対象に会社法の計算書類作成のために最新の法令に基づいて基本から実務まで総合的にわかりやすく解説。

〔講師〕太田達也 公認会計士（太田公認会計士事務所）

〔視聴期間〕3月13日（水）10時～5月15日（水）17時（収録日：3月5日（火））

〔優待価格〕1名につき27,500円（税込）〔一般価格 49,500円（税込）〕

〔お申込み先〕<https://www.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2199&scd=54240313>

2. 「基礎の基礎」から解説 法務担当者のための輸出管理・経済制裁

〔講座概要〕輸出管理・経済制裁分野の初心者を対象に、基本的なフレームワークを「基礎の基礎」からわかりやすく解説

〔講師〕大川 信太郎 弁護士（森・濱田松本法律事務所）

〔視聴期間〕3月28日（木）10時～5月31日（金）17時（収録日：3月14日（木））

〔優待価格〕1名につき23,100円（税込）〔一般価格 33,000円（税込）〕

〔お申込み先〕<https://www.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2237&scd=52240328>

3. 法務・総務・審査・経理等の 新任担当者のためのビジネス法務の基礎知識

〔講座概要〕各部門の業務を的確に進めていくために、最低限知っておきたい基本的なビジネス法務の知識について、近時の法改正等の動向等も含め、なるべく広範囲にわたって、実務に即して具体的に分かりやすく解説

〔講師〕太田大三 弁護士（丸の内総合法律事務所）

〔開催日程〕5月21日（火）13時-18時30分（質疑応答込み）

〔視聴期間〕6月21日（金）より配信開始予定です

〔優待価格〕1名につき30,800円（税込）〔一般価格 44,000円（税込）〕

〔お申込み先〕<https://www.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2221&scd=11240521>

4. 2時間でわかる 運送取引の法律実務のポイント

〔講座概要〕運送取引に関する基礎知識を習得いただくため、書籍『Q&A 運送取引の法律実務入門』（商事法務・2024年）を題材として、運送取引の法律関係・契約関係に関する実務上のポイントを運送人側・荷主側は一つの運送契約における両当事者となりますので、どちらのお立場の方にもご理解いただけるように解説

〔講師〕山下和哉 弁護士（弁護士法人東町法律事務所）

〔開催日程〕5月29日（水）14時-16時30分（質疑応答込み）

〔視聴期間〕6月12日（水）より配信開始予定です

〔優待価格〕1名につき19,250円（税込）〔一般価格 27,500円（税込）〕

※テキストとして、講師の著書『Q&A 運送取引の法律実務入門』（2024年・株商事法務発行）を配付（無料贈呈）

〔お申込み先〕<https://www.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2216&scd=11240529>

5. 電子契約・電子文書管理の法律・実務の重要ポイント

〔講座概要〕電子契約・電子文書管理の法律・実務の重要ポイントについて、わかりやすく整理。法制化の最新動向についても、簡単に紹介予定

〔講師〕宮内 宏 弁護士（宮内・水町 IT 法律事務所）

〔開催日程〕2024年6月13日（木）14時-17時（質疑応答込み）

〔視聴期間〕7月4日（木）より配信開始予定です

〔優待価格〕1名につき23,100円（税込）〔一般価格 33,000円（税込）〕

〔お申込み先〕<https://www.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2276&scd=11240613>

6. 脱初心者のための一緒に考える英文契約実践講座

〔講座概要〕英文契約に必要な知識や考え方を習得できるように、初心者から次のステップに進みたい方を対象に設計されたケースメソッド形式の講座

〔講師〕辻野篤郎 弁護士（あしたの獅子法律事務所）

〔開催日程〕6月28日（金）14時-17時30分（質疑応答込み）

〔視聴期間〕7月19日（金）より配信開始予定です

〔優待価格〕1名につき23,100円（税込）〔一般価格 33,000円（税込）〕

〔お申込み先〕<https://www.shojihomu.co.jp/seminar/details?cd=2301&scd=11240628>